

平成24年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473600649	事業の開始年月日	平成15年12月1日
		指定年月日	平成15年12月1日
法人名	株式会社 木下の介護		
事業所名	ライフコミュニケーション泉		
所在地	(〒245-0016) 神奈川県横浜市泉区和泉町3285-3		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	27名
		ユニット数	3ユニット
自己評価作成日	平成24年11月1日	評価結果 市町村受理日	平成25年3月17日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>入居者お一人おひとりの個性・尊厳・生命を守り、活力ある生活を支え寄り添うようなケアを目指し、入居者の希望を汲み取りながら、散歩・外出・外食・家事手伝い・歌や園芸・作品作り等を取り入れた生活リハビリを行っています。また、出来る事柄を大切に、出来る限り自身で行って頂けるようお願いをしています。ほか、住み慣れた環境で未永く過ごして頂けるようにも配慮しております。</p> <p>年4回の家族懇談会後の食事会では、収穫した野菜でカレーパーティーや出張握り寿司など工夫を凝らした企画で、ご家族と一緒に過ごす機会を設けております。ほか桜花見や納涼祭など四季折々の行事も行っております。毎月1回の音楽療法、納涼祭の手伝いや敬老のお祝いの体操などボランティアの協力も得ながら運営しております。</p>
--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成24年11月13日	評価機関 評価決定日	平成25年1月17日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、相模鉄道いずみ野線いずみ中央駅より徒歩約10分の静かな住宅地に立地し、平成15年に開所した3ユニットのグループホームである。今年の12月に10年目を迎える。各ユニットの厨房はアイランド型のキッチンで、調理しながらリビング全体を見守り、目配り・気配りのできる利用者本位の設備となっている。</p> <p>【家族との絆を大切にしている】 平成24年5月から「ライフコミュニケーション泉絆だより」を創刊し、2か月に1回発行している。事業所の活動状況や利用者の日頃の生活状況を写真で知らせ、今後の予定や情報を伝えて、家族との絆を大切にしている。 このたよりに加えて、書面で利用者の近況報告と毎日の血圧、脈拍、体温などのバイタルチェックを1か月まとめて記載した「健康チェック表」を毎月送り、家族の安心につなげている。</p> <p>【家族懇談会を楽しく過ごすひととき】 家族懇談会を年4回開催し、懇談会後は、家庭菜園で収穫したジャガイモやにんじんを食材にしたカレーパーティーを行い、敬老の日やクリスマスを家族と一緒に楽しく過ごしている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ライフコミュニケーション泉
ユニット名	1F

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>運営理念をフロアに掲示し、理念に基づきケアを行うように心掛けている。朝礼時や会議時等を利用して理念の共有化に努めている。</p>	<p>開設当初からの理念は1階・2階・3階の各事務室と各フロアの出入り口に掲示している。管理者は新入職員研修時に説明し、職員には朝のミーティング時に「木の下でのフィロソフィ（哲学）」と一緒に唱和して理解を深め実践に結びつけている。</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域ボランティアを受け入れ、交流を図っている。また、自治会にも加入。地域のお祭りに参加したり、地域のお店を利用したりしている。</p>	<p>町内会に加入して、資源ゴミの回収に協力し、地域の夏祭り・盆踊りに参加し、和太鼓を湘南台体育館で見物している。ボランティアが事業所の納涼祭や敬老会には、「歌の宅急便」や音楽療法を行い、家庭菜園作りにも来所している。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域への啓発活動までには至らないが、立ち寄りの見学者や問合せ者、ボランティアの方々へ理解や支援方法、アドバイス等をお伝えしている。</p>			
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>施設の取組み状況を報告し、意見を頂きながらサービスの向上に活かしている。</p>	<p>運営推進会議は2か月に1回開催している。会議では事業所の運営状況や活動内容、外部評価の受審についても報告し、意見交換を行い、理解と支援を得るよう努めている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>横浜市のGH連絡会、泉区の防災時の助け合いを考える会に参加交流をしている。泉区役所とは運営推進会議の報告、会議参加もして頂いている。</p>	<p>管理者は区の高齢支援課へ事業所の運営や業務上の問題点などを報告し、相談している。横浜高齢者グループホーム連絡会に参加して、情報交換をし、交換研修も行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	不審者の侵入防止のため、玄関のみオートロックの施錠を行っている。施設会議のなかで研修を行っている。また外部研修にも参加し、取り組んでいる。	職員は全体会議の中で身体拘束をしないケアの勉強会を行い、正しい理解に努めている。玄関は防犯上と安全面から家族の了解を得て、オートロックにて施錠している。各フロアの出入り口は施錠をせず、ドアに鈴を付けて見守りに努めている。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設会議のなかで研修を行っている。また外部研修にも参加。意識の再確認を行い、日々危機感を持ちながら防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修にて学ぶ機会はある。管理者はご家族からの相談時に説明や紹介をすることがある。職員の理解と活用は乏しい。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学时や契約時ほか、その都度質問や疑問を伺い、説明を行いながらご理解に努めている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時のほかに、運営推進会議や家族懇談会等でご意見やご要望を伺う機会を設けている。可能な事柄は改善に努めている。	苦情や要望の担当窓口は、契約時に説明している。運営推進会議や年4回の家族懇親会、家族の来訪時には日頃の様子を説明し、意見や要望を聞いて運営に反映している。家族より重度化の医療面をもう少し充実して欲しいと要望があり、検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設会議のほか、日頃より話しやすい雰囲気を作り、いつでも相談出来るように努めている。可能な事柄は反映されている。また、施設長会議や代表者巡回時にも機会を設けている。	管理者は月1回の全体会議やユニット会議に日常業務の意見や要望を聞き、業務の改善や向上に反映している。職員から人員増加の要望があり、職員の募集に努めている。法人の役員が巡回時に職員から要望を聞き事業に反映している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設長会議時状況報告や施設巡回時に現場見学をしながら把握に努め、環境整備ややりがい等の助言を頂く。意欲向上に向けた職員表彰も行っている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職種ごとに社内研修が定期的開催され、職員が参加している。社外研修への参加も行っている。無資格者には当社のヘルパー2級講座を利用することが出来る。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市や神奈川県グループホーム協会に入会し、主催する連絡会や講義、交換研修等に参加。学ぶや交流の機会を作り、向上に努めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のアセスメントで家族と本人の状況や要望を伺う。入居後はアセスメントに基づいたケアを行い、また職員より声かけを多く持ち、安心出来るように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時にご家族の思いを伺っている。入居後は翌日にご様子を伝えている。また来訪時や郵送物と一緒に近況報告を行っている。ほか都度相談を承りながら関係作りに努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学や面談時に当施設サービスを説明しながら必要なサービスを確認し、提供可能か否かを判断する。提供不可やニーズに合っていない場合は、他サービスの紹介を行う。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は出来る限り一緒にお茶や食事、レク、家事等と一緒に過ごしながら関係を築いている。ご入居者同士も同様。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	健康と生活のご様子を手紙にして伝えている。来訪や電話時にも近況報告を行っている。家族も一緒に参加できる行事等を通じて、三者の関係構築に努めている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族やご友人、知人の方々が自由に来訪面会や一緒に外出等希望により出来るようにしている。ご家族の協力を得ながら、一時帰宅や旅行などもされている。	利用者は家族と一緒に美容院や外食、墓参りに行き、友人と東北旅行にも出掛ける方もいる。利用者の知人や友人が来訪し、居室やフロアで歓談しているとき、お茶出しのサービスをしている。年賀状や手紙が届くこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶、家事手伝い、レク時に職員を介しながら一緒に過ごし、コミュニケーションが出来るように努めている。ご入居者同士で話や作業をされる姿が見受けられる。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後、ご家族より相談を頂いた場合には、必要に応じて出来る限りの対応に努めております。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃よりご本人へ希望や意向を伺っている。またご家族と話し合いながら検討もしている。ほか、表情や行動を見ながら察し、把握に努めている。	職員は日常の会話、行動や表情の中から利用者の意向や希望を汲みとるように努めている。自分から意向を伝えにくい方には家族の来訪時に情報を得たり、入浴時のゆったりしている時に話を聞き、できるだけ希望に沿うように努めている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前本人面談時にアセスメントを行い、現在に至るまでの生い立ち、趣味、嗜好、習慣等を伺い、入居後もこれまでの生活が継続出来るように努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の会話、摂取状況、排泄状況、入浴、レク、家事手伝い、健康チェック等で現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ユニット会議の中で個々の課題について意見交換を行い、ケアに反映させている。モニタリング・再アセスメントより課題の抽出を行い、即した計画を作成している。	入居時には管理者とケアマネージャーが自宅や病院を訪問し、希望を聞き話し合っている。アセスメント後、暫定プランを作成し、医師の所見を入れ、職員間で話し合い、作成している。見直しは通常6か月、変化があれば随時行っている。	介護計画は様式を一部変更していますが、職員が介護計画の必要性を一層理解し、日頃の介護の中で活かしながらケアに当たる事が大切と思われます。利用者の介護度が少しでも緩やかになるように期待します。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきに関する記載をヒヤリハットや日誌、往診医相談等にしており、職員間の情報共有に勤めている。またユニット会議内で話し合い、見直しに活かされている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院や退院時、介護タクシーの手配。通院困難時には職員が代行対応を行っている。要望を伺いながら、施設で対応が可能な事柄は柔軟な対応に努めている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの協力を得ながら音楽療法やイベント（納涼祭や敬老のお祝い等）を行い、近所のパン屋や駅前のスーパーに買物に行くことがある。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に訪問診療が受けられ、24時間のオンコール対応も行っている。夜間でも安心して相談指示が仰げるようになってきている。また、希望より往診時に家族面談も行ってもらえる。	かかりつけ医の医療機関を継続して受診できるように支援し、家族に代わって職員が通院介助する場合もある。ほとんどの利用者が協力医療機関の往診医を受診している。医療情報は個人別に記帳し共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問診療の看護師へ日頃の状況伝達、相談を行っており、個別の処置やアドバイスを貰うことができる。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、職員より病院看護師へ情報提供を行う。退院見込みとなった際には連絡を頂き、状況確認のうえ受入態勢を整え、退院連携にも努めている。協力医療機関主催の会議に参加。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居前に入居条件を説明している。原則ターミナルは行わない。ご家族の希望を伺いながら、協力医療機関や当社有料老人ホーム等への紹介を行う。</p>	<p>ターミナルケアは現段階では対応しない方針である。急変時には主治医、家族・職員が話し合い、利用者にとって最善の方法を採り、協力医療機関での救急診療あるいは救急入院を行っている。</p>	<p>急変時や重度化した場合の対応に備え、主治医と相談し、本人・家族とはできるだけ早い段階から方針を説明して話し合い、職員も方針を共有することが期待されます。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署主催に研修に参加。迷わず事故対応が行えるようにフローチャートを作成し、会議時に確認を行う。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難方法の説明、訓練を行っている。泉区の研修にも参加。近所に当社の有料老人ホームがあり、協力体制をとっている。ほか泉区の社会福祉施設内での協力体制もある。</p>	<p>防災・避難訓練は地震想定訓練を消防署の協力を得て実施している。訓練は近隣の同一法人の有料老人ホームと協調して行っている。地域の方の協力はまだ得られていない。非常災害用に備え、食料・飲料水は備蓄している。</p>	<p>防災・避難訓練は夜間想定訓練を実施し、地域の方の協力体制が得られるように運営推進会議等を通じて働きかけが期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	社内研修、施設内会議にて周知に努めている。認知症の理解と共に、言葉遣いや声のトーンに配慮するように努めている。	職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出している。日頃より利用者の一人ひとりを尊重し、なれなれしい言葉かけに留意し、利用者が話しやすいようにやさしく接している。個人情報を含む書類は施錠のかかるキャビネットに保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その都度、意思決定が出来るように声かけの工夫に努めている。また、尊重出来るように支援をしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課や役割等を決めてはいるが、その時の状態や気分で無理をせず、本人の希望を大切にしている。出来る事柄はお願いし、本人らしく過ごせるように支援している。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月訪問理美容が来ており、希望者はカットや毛染め等が行える。外出時は好みの服で出掛けられる様に支援をしたり、化粧が好きな方は継続が出来るように支援をしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好きなもの、嫌いなものを伺い、食事提供時には配慮をしている。外食や行事食、季節食等で希望の食べ物を提供している。出来る方は一緒に調理や片付けを行っている。	利用者は職員と一緒に野菜の皮むきの下ごしらえ、テーブル拭き、食器洗い・拭きをしている。職員は利用者と一緒に食事をし、刻み食やトロミ職の食事介助もしている。誕生会は本人の好きな昼食を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食材業者を利用し、栄養・カロリーバランスを行っている。一人ひとりの状態に合わせて、食事や水分量、形態等の調整を行いながら提供をしている。習慣に応じた嗜好にも配慮している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、声掛け促し、見守り、一部介助、全介助等個々の状態に合わせて行っている。夜間に義歯洗浄介助。毎週訪問歯科が来設し、希望者は治療、口腔ケア等が受けられる。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンの把握に努め、随時声かけや誘導を行いながら排泄チェックを行っている。排泄パターンの把握に努め、出来る限りトイレで排泄できるように努めている。</p>	<p>排泄チェック表により、一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレ誘導の参考にしている。利用者がそわそわしているしぐさや表情から察知して声かけをしている。入所時にリハビリパンツの方が布パンツへ改善している方もいる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>乳製品や繊維質の食べ物を食事やおやつ時に提供。また、ラジオ体操や散歩等適度な運動も促している。便秘続く場合は、医師へ相談し、処方服用を行う。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>主な時間帯は決まっているが、臨機応変に対応する時もある。基本は週2回とし、希望者はさらに入れるように考慮をしている。</p>	<p>入浴は基本的には週2回で希望があれば毎日でも入浴できるように支援している。夏場は清拭やシャワー浴にする方もいる。入浴をしたがらない方には早朝の静かな時間帯や声かけの職員を変える工夫をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調や習慣、本人希望を尊重しながら自由に休息がとれる。また、季節に合わせ室温や布団調整を行い、安眠出来るように支援をしている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局より薬錠表を頂いており、全職員が用法、用量、効果、副作用等について理解をしている。薬の変更時には、症状変化を観察し、往診医と薬剤師へ報告を行っている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々に合った生活歴や趣味、特技を活かし、家事や趣味活動等できる事柄をお願いし、役割や張り合い、喜び、自信、存在価値へと繋げ、本人らしく過ごせるよう支援をしている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	畑仕事、ゴミ捨て、近隣散歩、買物など屋外活動を行っている。家族旅行、墓参り、町内会の盆踊り、入居者全員で和太鼓体験外出等屋外に出る機会を設けている。	天気が良ければ体調に応じて、車椅子の方も含めて、事業所の周りや近くの神社へ散歩している。3階の方は、窓際で日光浴をしている。職員と一緒に買い物や花見の季節には飯田牧場や和泉川沿いや食事ツアーへ出掛けている。遠出の時は介護タクシーを使用している。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	紛失トラブルを避けるため、基本的に施設内での金銭所持は禁止されている。購入希望時は、一時立替を行う。施設内の買物時には、支払を入居者に頼み見守ることがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自ら電話することは出来ないが、職員に依頼する事で、職員が連絡し、家族や知人と自由に電話で話ができるようになっていく。			
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロア内や入口ホールに作成した飾りで季節感を出している。ほかイベント時の写真掲載等も行っている。	共用空間は明るく、温度、湿度を調整し、換気、清掃を行い清潔に保たれている。近くの相模鉄道いずみ野線の騒音はあまり気にならない。リビングの壁面には色紙に落ち葉を貼った作品や手作りカレンダー、切り紙細工を飾り、温かい雰囲気づくりとなっている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	各フロアの廊下にくつろげるソファを置き、ご入居者は台所見物や入居者同士や職員との話等で自由に利用して過ごされている。			
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	大切にされていた品物を飾ったり、持ち込まれたりして個々が暮らしやすい雰囲気の居室作りをされている。施設側は安全に過ごせるようにレイアウトに配慮している。	居室は介護用ベッド、整理タンス、防災カーテン、洗面台などが備えられている。読書用の机と椅子、本箱、テレビ、家族の写真を飾り、居心地よく過ごせるような部屋となっている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有部には手すりが設けられており、つまみながら安心して歩行できるようになっている。トイレ表示の工夫も行っている。			

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲示し、共有に努め、理念に基づいたケアを行うように心掛けている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の会員になり、地域の情報を集めています。最初に来ることがらということで子供会の資源ごみにダンボール等出しています。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の会を開き、ご家族・地域の人からの日頃感じていることをお話していただき、どのようにすれば良いか聞いております。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	利用者個々の行動を把握して、目を離さないようにしています。		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	内部研修を受けることにより学ぶ機会が持てるようにしている。また、ユニット会議等で話し合うようにもしている。		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	最近良く耳にすることなので、スタッフ同士や全体会議で説明するようにしています。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	事前に不明点等お聞きして説明・回答するようにしている。		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	家族懇談会を年4回設け、報告、意見交換をしています。発言出来るような場作りも心がけています。玄関には意見書箱を設置してあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議をすることにより、意見が言えるようにしています。反映出来ています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	フットワーク賞、ケア賞等設けて、表彰されるようにして意識を高めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修には積極的に行けるよう機会を沢山設けてくれます。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他のグループホームとの交換研修をしています。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にアセスメントをしっかりと行い、又ご家族からのお話を聞き、情報をしっかりと集めてから行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	丁寧に説明、何度も話す機会を持つことで信頼を得てもらっています。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	しっかりとアセスメントを取り、何が一番したいか、何が一番困っているか聞き出すようにしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	手をあまり出さず、本人に声かけによりやってもらっている。洗濯たたみ、食器拭きなどお手伝いしてもらっている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族が大変そうな時は、こちらで対応出来ることを伝え、安心してもらう。面会に来て頂くようお願いする。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	兄弟、お友達からの電話が掛かって来た時はご本人とお話ししてもらおうようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室にて長い時間過ごされている時は、訪室して、確認して、場合によってはフロアに出て来て頂き意図的に話しかけるようにしている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了しても、ご家族からの連絡があったら、名前をしっかりと覚えておき、その後の経過や相談に応じます。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントを細かく取っていく上で本人らしさを見つけていく。スタッフ同士共有して、一人ひとりを把握する。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	なるべく傾聴に努め、その中から生活歴、その方の暮らしの把握をしていっています。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	リビング介護をすることで、健康・心身共に状態が分るように心がけています。又、ラジオ体操をすることで、可動域の把握をしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>最低1ヶ月に1回はユニット会議をして、一人ひとりのカンファレンスをしています。意見は現場で活かされています。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録は詳しく記入するようにしています。情報はノート等にも書き、いつでも見られるようにしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>スタッフ同士意見を交換し、一人ひとりにあったケアを考えて、まずは実行し、改善しながらより良いケアをしています。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>施設近くに何があるか調べ、散歩しながら立ち寄りたり、おやつを買いに行ったりする。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>ケアプランに主となる医療機関を明記して、すぐに連絡が取れるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>回診時、つめ切りをして頂きながら状況を聞いたりする。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>退院前には、ご家族と一緒に先生から経過を聞いたり、今後どのようにしたら良いか、お話を聞くようにしている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>医療行為は出来ないことを説明し、納得してもらっている。又、緊急時の対応も十分説明する。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>全体会議で説明、書面で説明。ユニット会議でも確認のため、もう一度説明している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練をしています。廊下壁には非常口の経路を貼ってあります。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄時ドアを全開にせず、又声掛けをしてから行うようにしています。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人把握に努め、傾聴するようにして、本人の思いなどを理解するようにしています。伝達が難しい利用者には、YES・NOで答えられるようにしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩等に行きたい時は、少しまってもらい、短い時間でも出られるようにしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服は本人に選んでもらって朝着替えています。装飾が好きな方には、手助けをして髪飾り等をつけています。毎月訪問理美容が来ています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりに合った食事形態にして召し上がりやすいようにしています。テーブルを拭いたり、食器を拭いたりするお手伝いをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分の少ない方には、好きなものを、又ゼリー等で摂ってもらうようにしています。(寒天でお茶ゼリーを作っています)</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自力にてケアしてもらうが、少し足りない時は声かけ介助するようにしています。又ケアが出来ない方には、ガーゼ等できちんとケアしています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンを把握し、出来ることは本人にやってもらうようにしている。又、尿意・便意がある方には、大事にして支援しています。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>日頃水分は多めに摂ってもらうようにしています。又、週1回は豆乳を取り召し上がっています。又、毎朝のラジオ体操。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>音楽を流し気分を変えています。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調を見て、今なにをしたら良いか確認、見極め、声かけしています。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	常に薬状は分かる所におき、直ぐに確認出来るように個別になっている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	皆様とのコミュニケーションの中で、一人ひとりの興味等聞き出し、会話に入れるようにしている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	月に1回は外食して、日頃めしあがれないものを食しています。又、買いたいものがある時は、スタッフと一緒に買物に出ています。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことで安心される方には、財布に少しでもお金を入れてあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	面会に来られなかった時は、本人が電話をしたいと要望があるので、時間をみて電話をかけてお話して安心されています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎月のカレンダーに手作りの季節感を取り入れています。フロア内の壁には、季節の飾りをしています。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下にはソファをおき、誰もが好きな時に座り、お話し出来るようにして、ゆっくりとお茶等飲んでもらっている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お花が好きな方には、畑から摘んだものを差し上げ飾ってもらっています。又、本棚を設置し、お好きな本が直ぐに分かるようにしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ちょっと分からずウロウロしていることがあると、声かけをして全て行うのではなく、一部の手助けをしています。		

事業所名	ライフコミュニケーション泉
ユニット名	2F

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念を掲げ、理念に基づいてケアを行うように心掛けている。朝礼時など利用し、理念の共有化に努めている。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的とは言えないが、家庭菜園を地域ボランティアの方々とは交流を図るように努めている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	最近では実践できていない為、今後の課題として行きたい。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営状況を報告し、利用者サービスの取組み状況など話し合い、意見をいただき改善策をたてサービス向上に活かしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	泉区認知症高齢者グループホーム連絡会に参加し、情報交換を行っている。消防署からの情報や各事業所との意見交換を行うなど区担当者からのアドバイスも頂く機会を持つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>研修や全体会議にて「拘束」について話をする機会を設け、正しく理解してもらう様に努めている。また、鍵をかけない代わりに鈴などで無断外出などの事故を予防するように努めている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>内部研修にて職員が再認識する機会を持つようにしている。職員一人ひとりが理解し、日頃から意識することが大切だと周知している。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>実際は対応する機会も少ないが、今後必要性があれば対応して行きたい。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居者には必ず重要事項説明書を読み、わかりやすく説明しているが、不十分なところがないかどうか確認しながら行っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>定期的な家族懇談会を行っており、意見や要望などを聞く機会を設けている。また、玄関に意見箱を用意し、自由に意見が記入出来る様にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議を行い、運営に関する意見などを聞く機会を設けている。また、本社から社長や支店長、取締役などが巡回に来られ、現場職員の意見を直接吸い上げ意見を聞いて対応してくれる。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人では施設巡回を重視し、職員や管理者の勤務状態を把握し、必要に王してヒアリングを行うなど、伝がの様子を把握し勤務条件の整備をしている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を積極的に参加している。その資料を回覧している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市や神奈川県グループホーム協会に入会しており、協会の主催する研修などに参加し、情報交換や交流を深めている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	安心を確保するためには、ご本人様とコミュニケーションを多くとり、わかりやすい言葉かけや笑顔で対応をする。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が困ったことがあれば、いつでも相談して欲しいことを伝え、また、ご家族と面談する中で今までの状況や困っている事や要望などを聞き、安心して頂ける様に努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要とされている支援を把握し、状況におうじた適切な支援を行う様に努めている。また、場合によっては他サービス機関に連絡をとるようにしている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活介護の中で残存能力を出来る限り活かし、一緒に食事作りや散歩、洗濯たたみなど共に生活していく環境をつくるように努めている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お正月など自宅に帰宅できる場合は、出来るだけ可能になるように支援し、家族と本人の意向に沿えるようにしている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	旧友の方や親戚の方からの電話がある時は取り次いで今まで関わって来られた関係が途切れないように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立しないよう職員が把握し、入居者様の中でも気の合う人合わない人はいらっしょと思われるにで、状況に応じ関るようにしている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後の様子を伺うなど、連絡を取っている。また、入院している場合は面会に行くようにしている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	その方にあった生活を支援し、自分の思いや希望を言葉で表す事が困難な方であっても顔の表情や態度で一人ひとりの把握に努めている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や個人の意見を尊重するように努めている。加速からの情報や本人からの情報を収集し、サービス提供に努めるようにしている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活習慣などを把握し、状態観察に努めている。心身状態などは日々に排泄や食事などのチェック表により把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ユニット会議、またご本人や家族のお話の中でケアの見直しを行い、介護計画を作成している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>情報を共有する方法として朝の申し送りや業務日報などで確認して介護記録に反映するようにしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者様やご家族様のニーズに応じて訪問診療や訪問歯科診療、理美容など柔軟なサービスを取り入れる様に工夫している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティアの方に家庭菜園で方法などを教えていただき、入居者様も一緒に草花を育て、草とりなども行い楽しみにしている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院などがあるが、本人・ご家族様の希望をお聞きして受診先を決めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員や訪問看護は入っていませんが、訪問受診の先生に電話やFAXなどで指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院に関してだけでなく、受診する際でも協力して頂いている。認知症の方は、入院などを断られてしまう事が多い中で、相談に応じていただいている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>ご家族と面談し、主治医の指示のもと施設で可能な限りケアをおこなうようにしている。看護師が常駐していない為、ご家族との連絡を大切にしている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救急法など消防署にて研修があった時など出席し、内部研修にて報告し、情報を共有している。また、緊急マニュアルがあり、参考にしている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非常用の食材、備品は常備している。災害に関しては自治会の訓練に参加している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーについては十分に注意している。トイレに行く時や排便などの時も声かけには注意するように心がけている。特に言葉遣いには気配りが大切であると周知している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	移行や要望などを伺うようにして自己決定を促すようにしている。外食のメニューなどを一緒に考えたり、衣服の選択など自己決定できるように支援している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人jのペースに合わせて個別ケアをおこなうように心がけている。食事の時間が個人によって遅くなることもあるが、ゆっくりと個人のペースを大切にしている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の意見を尊重し、必要に応じて理美容にてきれいにしている。髪型なども、衣類も自由に選んで着て頂くようにしているが、汚れている場合は、随時取り替えるように促している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に準備や食事作りを楽しみながら行い、出前を頼んだり、外食を取り入れて行っています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分量、食事摂取量などのチェック表を作成し、一人ひとりを把握している。また、一日分のトータル量なども記入している。水分は好みの物をお出ししている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口腔ケアについては、毎食後に行っている。義歯洗浄も行い、口臭に注意して必要に応じ訪問歯科診療を受け、清潔保持に注意する。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄パターンを把握するように努めている。自尊心を傷つけないような声かけ誘導を行うように心がけている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘の予防としては出来るだけ下剤を服用せず、食事やおやつなどにヨーグルトや乳製品を付け、便秘解消に努めている。運動やお散歩、体操やお腹マッサージをするようにしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日については、毎日入浴できている体制をとっている。午後にゆっくり入浴している。午後にゆっくり入浴して頂ける様に心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>良眠出来る様に生活のリズムを整えたり、日中も個別に休憩の必要な方には対応している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬チェック表などにて確認するようにしている。また処方内容をファイルしてあり、いつでも見て確認できるようにしている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>毎日のゴミ出しから始まり、散歩、体操、生活の張りを持てるように努めている。レクやイベントなど楽しむことが出来る様に支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>日課の散歩や草取りを一緒に行い、お買物や食事ツアーなど企画してその日の気分が出掛けるようにしたいが、体調の状態などを考慮して行うようにしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭管理については、法人で立替すると言うことが決められているが、外出した際お金の支払いなど職員と一緒にするよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が家族へ電話したいと希望があれば対応している。また本人宛の手紙が届いた場合は、お礼の電話をかけるなど支援している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	安らげる空間作りを心がけている。自然の風景画や観賞植物や花を置くなど落ち着いた雰囲気をはかっている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングの周りに、いつでも自由に座れるように、椅子を設置しており、フロアを歩きながら疲れたら休憩出来る様に工夫している。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	今までの環境と同じ様に設置するように、以前から使い慣れた身の回りの物があれば持参して頂く様にお話をしている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、また居室などの表示をわかりやすく工夫している（絵や表札など）出来るだけ安心して活動出来る様に支援している。		

事業所名	ライフコミュニケーション泉
ユニット名	3F

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入居者様の生活に合わせていると思います。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入っており、回覧板がまわってくる。地域ボランティアの方が来てくれている。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている			
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行っており、いろいろとお話や報告をしている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加してくれている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	できるだけ拘束はしないようにと心がけています。		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	防止に努めている。		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>			
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	説明を行い、理解や納得に努めている。		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	ご家族の意見や要望があった場合は、反映に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている			
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外の研修の機会がある。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	交換研修を行っている。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人からの訴えは難しいが、本人の表情や家族の要望を確認しながら安心できるような関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が来訪された時、話をするように心がけています。困っている時は上司に話をし、ご家族に伝えるようにしている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族の要望を聞き、対応している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご自分の家で暮らしているような支援が出来るように心がけています。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族がいつでも入居者様の所に来られるように環境づくりに努めている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの話は理解できないと思いますが、会話の間にスタッフが入り会話する事はある。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている			
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人からの訴えはなかなか難しい。家族に聞いたり、表情を見ながら把握に努めている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの経過の把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日様子が変わるので変化に気をつけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	ケアプランを作成する前に意見を聞くようにしている。		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	毎日業務日報や個別記録を記入してもらっているようにしている。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	急な通院や家族が対応困難な時は、職員が代わりに付添い対応を行っている。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>			
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	週に1度、又は2週間に一度の往診時に何かあった時には直ぐにご家族に連絡をするようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>往診医に報告し、何かあれば連絡を取るようになっています。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の時はそのように行うように心がけています。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看護師もいないので、終末期までは看 て上げられないです。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>今後やって欲しいと思います。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>これから行っていけたらと思います。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉がけに気をつけていますが、つい親しげに会話をしてしまう所がたくさんあります。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	訴えが難しく、スタッフの思いや行動が先になってしまう事があります。出来る方には働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方に合った介護とっていますが、なかなか難しいです。出来るだけ行って行きたい。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみや清潔に気をつけています。訴えが出来ない方もいる。毎日同じ服装にならないようにしています。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一緒に準備する事は出来ません。食事でも全介助の入居者様がほとんどなため、一緒に食事をするのも難しいです。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>ミキサー食、普通食に分かれています。その方に合った食事を出しています。自力で食事ができる方は、できるだけ自力で食べるように声かけ支援している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>声かけながらガーゼや歯ブラシなど、何かあった時は訪問歯科へ報告し、診てもらっています。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>出来る事は今後も行っていけたらと思います。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分、食事、便秘になった時は往診医の指示にしたがって行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>介護度が高く、湯船に入る事は難しいが、シャワー浴にて対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個々の状態に合わせ横になり休息を行っている。体調不良時は臨機応変に対応。夜間は安心して眠れるように声かけや巡回、排泄介助等を行っている。室温調整も行っている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>職員はいつでも薬状で確認ができる。様子観察に努めている。</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>好きな音楽をながしたり、好みの飲み物や食べ物を提供している。唄っていたり、リズムを取っていたりする。月1回の歌の会にも2名が参加。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>花見、和太鼓体験、買物、外気浴に出かけている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的に所持使用は行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやりとりはありません。月一度、入居者様の様子、又は来設時に報告をしています。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの壁を季節ごとに飾るように心がけている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにて皆様と過ごせるようになっております。他の方と話をしているような時があります。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	花や写真を飾られたり、家具を入れていたり個々に工夫がされています。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	できる事はできるようにと思い試みている。食事時、調子を見ながら可能な時は自身で食事が摂れように促し、見守る。途中でとまってしまった後は介助を行っている。		

